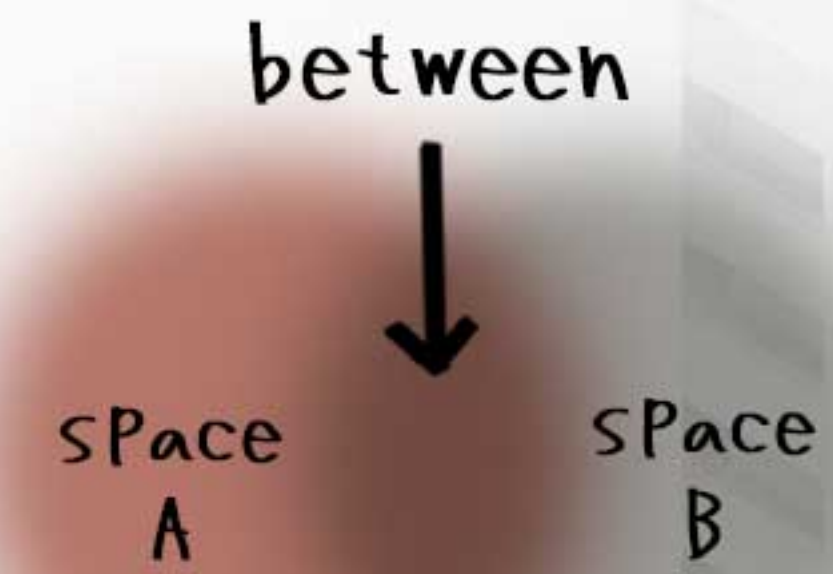


IN BETWEEN

—インテリアからまちまで中間スペースを解釈する—



「between space」とは

二つの空間の間に発生する空間であり、その二つの空間を連続、または分離することがある。「外部」か「内部」、「パブリック」か「プライベート」などある空間を明確に判断できないこともよくあるから、こういう曖昧な空間を定義するため「between space」あるいは「semi space」の言葉が発生した。

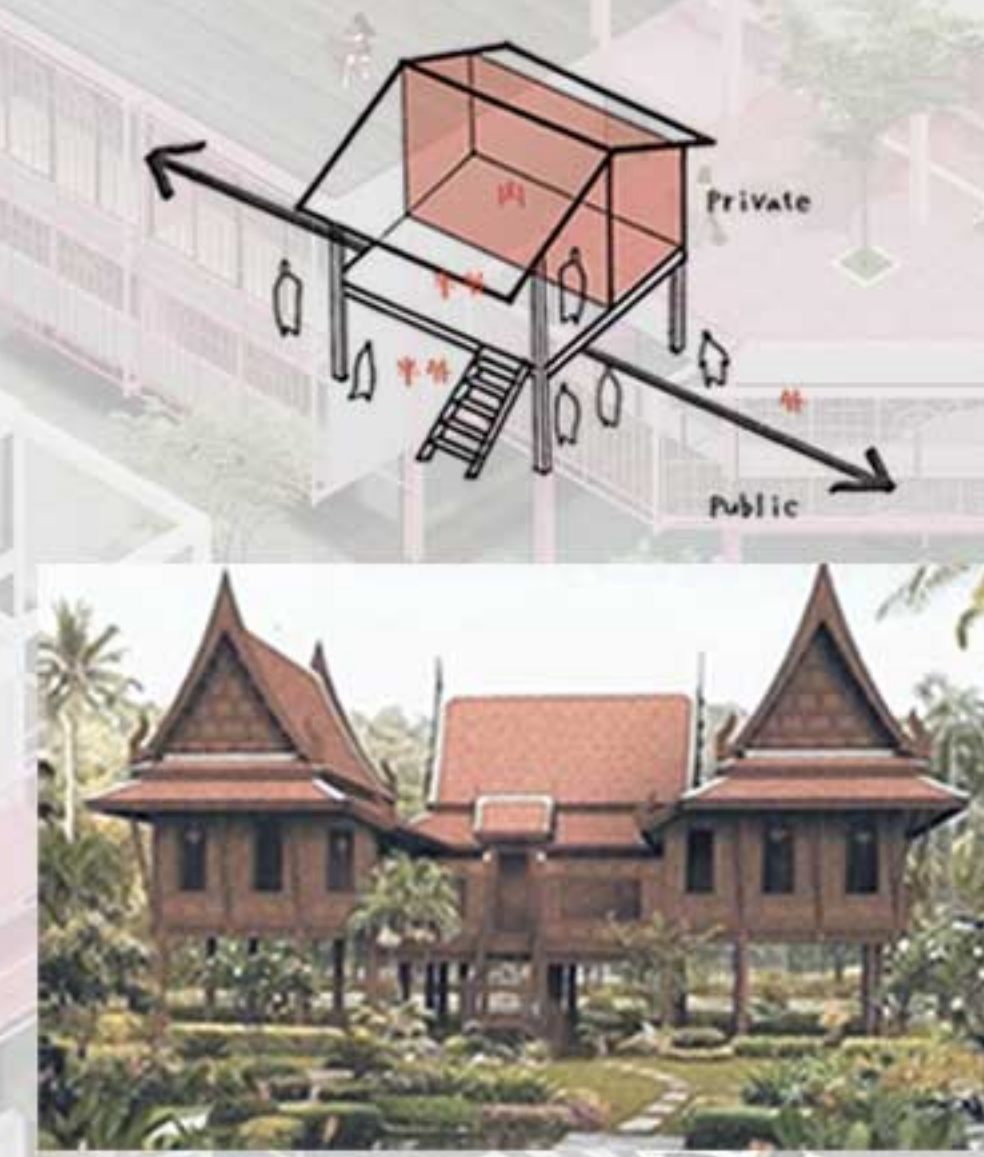
タイにおける between space

タイには「プライベート」か「パブリック」か、「内」か「外」か、「私物」か「公物」か「between space」という柔軟な空間で利用するライフスタイルがある。

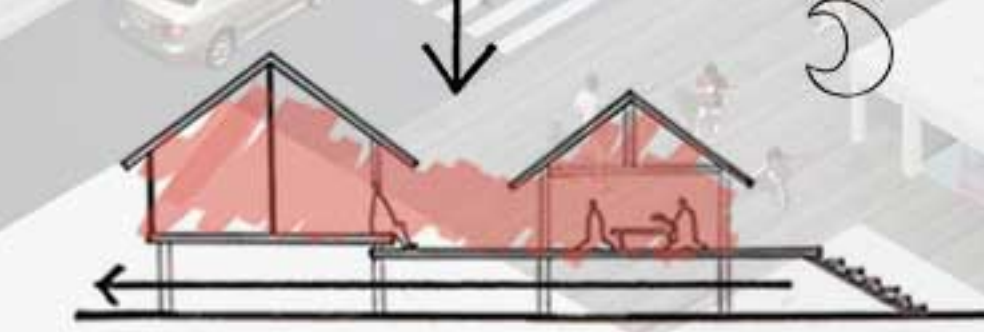
ある敷地や建築では、時間・季節・ユーザーのニーズによって一つ以上のスペースの形や利用仕方があることも可能。

二つの異なる空間を含む、内から街まで、プライベートのアクティビティからコミュニティまでつなぐ一つのツール

事例1) 伝統的の家

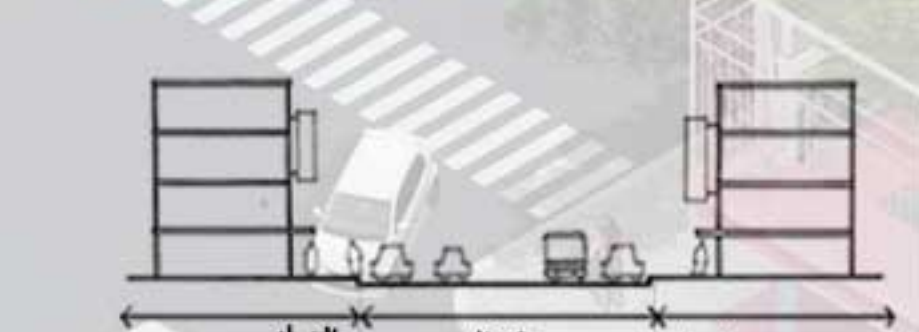


日中は下のスペースを利用、日常生活+近隣とのアクティビティ



夜間は上のスペースを利用、下のスペースは空いているスペースになり、コミュニティの通路

事例2) 道路沿いの屋台



夜間に歩道が屋台で混んでいて、フェンスを道路で立て、車線道路を歩行にする。



>> 一時的な歩道と道路の新しいバウンダリ

事例3) 住宅街の路地



路地は通路として利用することだけではなく、コミュニティの広いリビングルームのような居住者がお互いに話したり、コミュニティの活動を行ったりする場所として利用している。

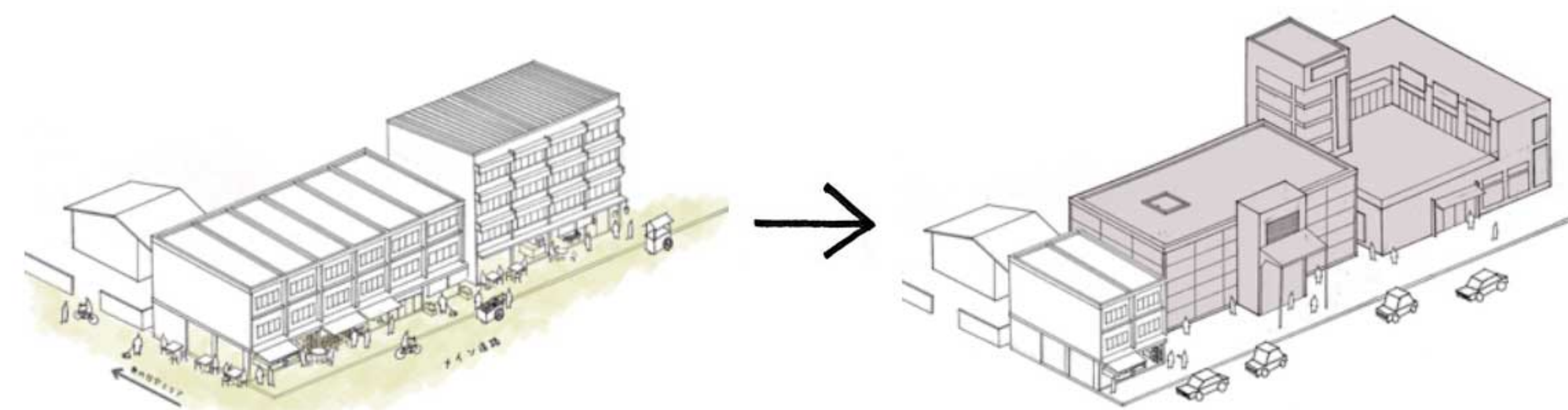
研究の段階では、様々な建築におけるbetween spaceについて研究した

	between spaceの様式				between spaceの役割						
	真ん中に入る	overlapping	曖昧で、統一する	変動的なプログラム	private	内部	機能	old	new	controlled	建築
Traditional Thai House											
Traditional Japanese House											
Sala Ameyu											
Thai Love Hotel											
Kaemana Institute											
Hotel Labels											
Tringpa Yangshou Forum											
Enrised Garden Wall											
Ekkamai House											
The Commons											
Open House											
Nanda Heritage Hotel											
New Museum											

元々は郊外の住宅街であったが、中心エリアが拡大し、現代は新しいダウンタウンになっている。

昔は郊外エリアだったが、都市が発達してきた現在ではエカマイが中心街と郊外の境界である。つまり、エカマイは「昔」と「現代」、「ローカル」と「都心」、「高級」と「低級」といった二つのコントラストを組み合わせるbetween spaceというところである。

都心になっている新しいライフスタイルに応じるため、道路沿いに並んでいた長屋は壊されたり、リノベーションされたりして、ライフスタイルモール、高層コンドミニウム、おしゃれなレストランやバーなどエカマイの新しいアクティビティ向け建物になっていて、エカマイの風景は昔から全く変わってきた。



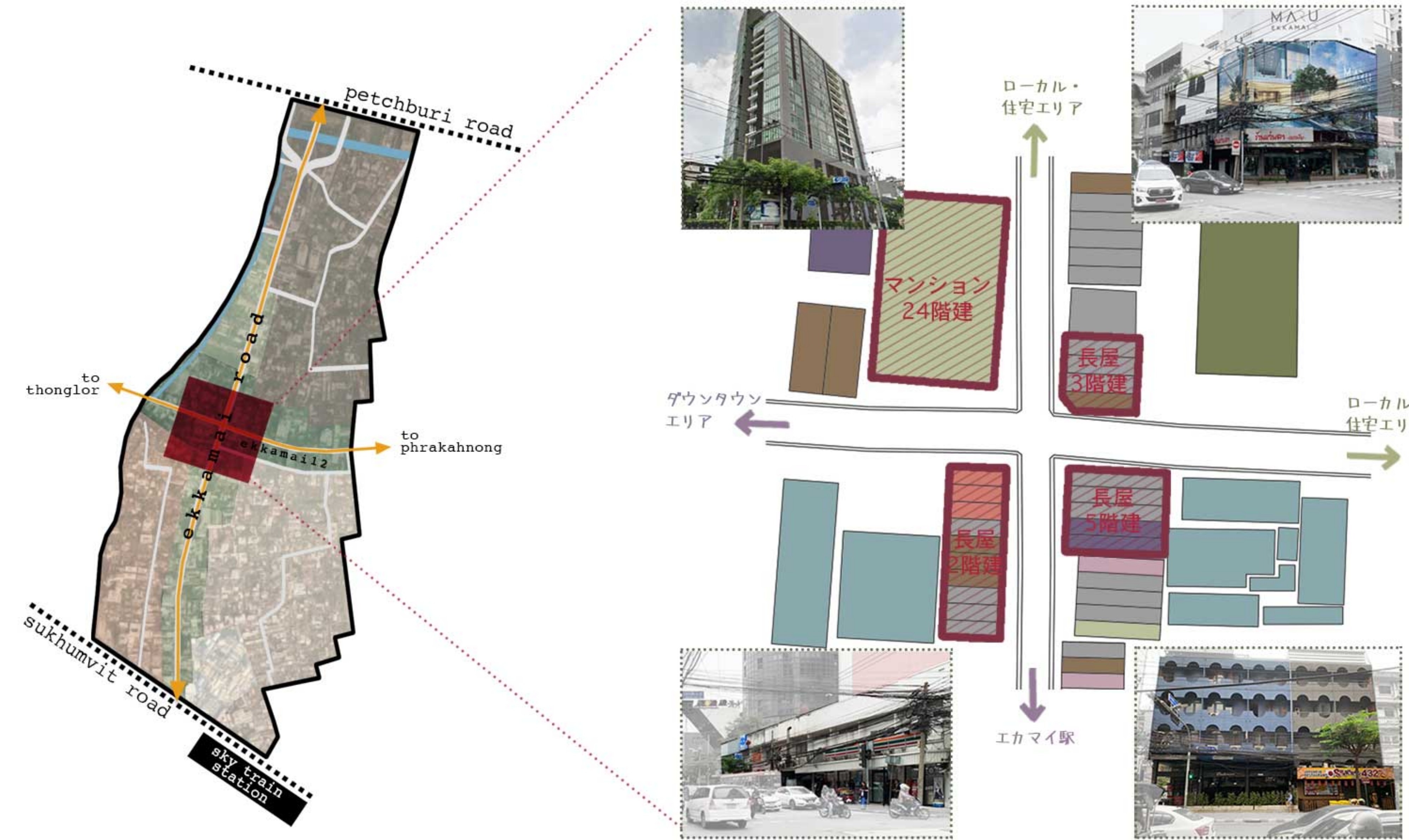
元々は道路沿いに個性的な長屋が並んでいて、道路から住宅街まで繋がり、コミュニティ感があつた。

現代では個性的な長屋が徐々に消えて、ショッピングモールやレストランなど新しい建物になっている。

現代、エカマイには様々な人のグループ、ニーズ、アクティビティが混在している状態である。個性的な長屋が徐々に消えて、ショッピングモールやレストランなど新しい建物になっている。新築のプログラムや建物のスケール感などは既存のローカル建物やコミュニティと調和としないため、昔ながらのコミュニティ感が消えて、また、道路からの混乱な「パブリック感」は住宅エリアまで流れている。その結果、それぞれの住宅は外から閉じるしか無い状態になっている。ついに、住宅とまちをつなぐ空間が消えてしまった。



「長屋」は道路沿いの「パブリック」と住宅エリアの「プライベート」を連続しながら、バウンダリーを機能として利用されていた。



-設計敷地: エカマイ12号線の交差点-

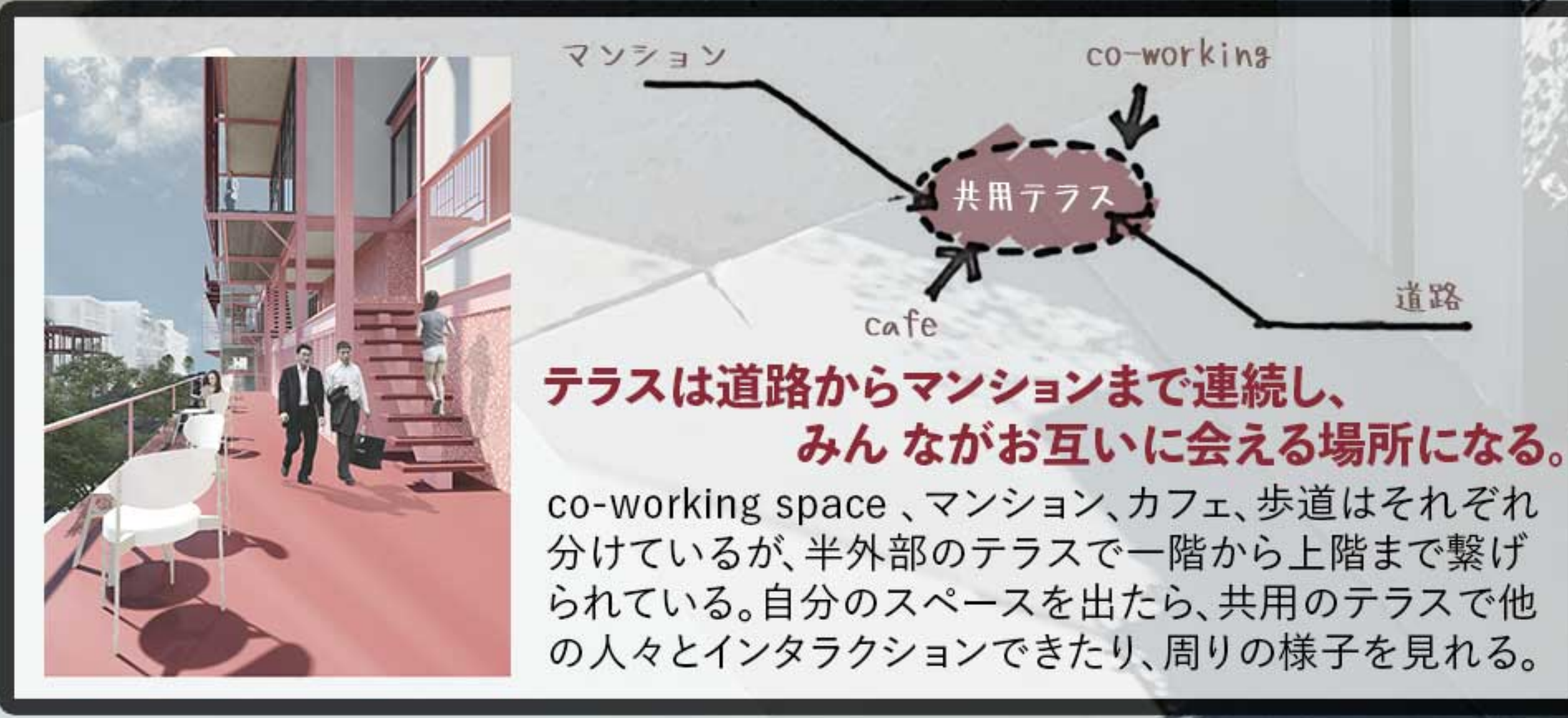
エカマイ12号線の交差点は4つの異なるエリアにアクセスを分配するジャンクションなので、エカマイで最も渋滞などであり、平日でも、休日でも1日中車・歩行者・屋台で混んでいる。

DESIGN MISSION = A COMMUNITY HUB OF EKKAMAI

これらのバリエーションを形としたいと思い、研究していたbetween spaceについて生かし、交差点の4つ街角にある長屋をリノベーションし、エカマイのcommunity spaceを提案する。この4つの角では異なるエリアまで連続しているから、それぞれの角では異なるキャラクターを示す。



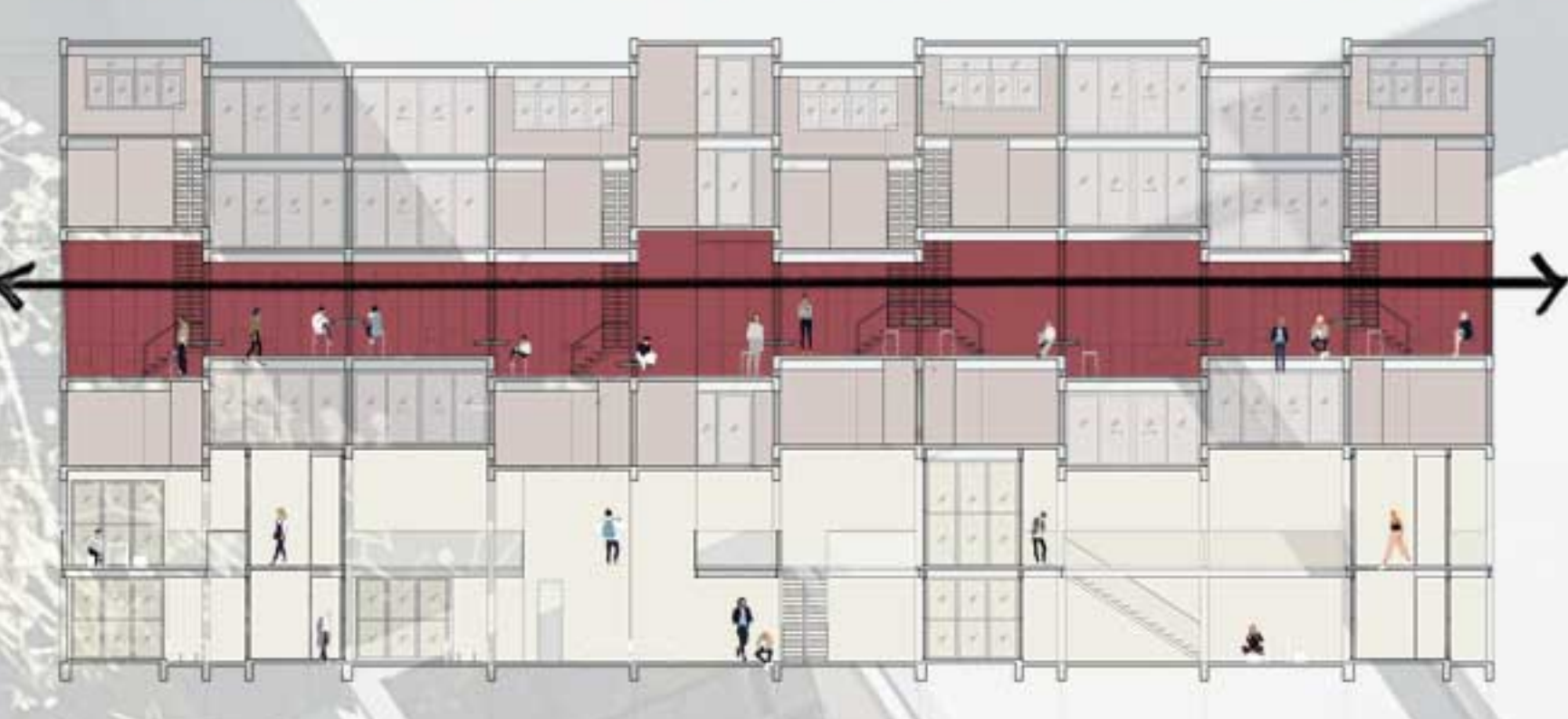
対象敷地: エカマイ(バンコク、タイ)



テラスは道路からマンションまで連続し、みんながお互いに見える場所になる。

co-working space、マンション、カフェ、歩道はそれぞれ分けているが、半外部のテラスで一階から上階まで繋がれている。自分のスペースを出たら、共用のテラスで他の人々とインタラクションできたり、周りの様子が見れる。

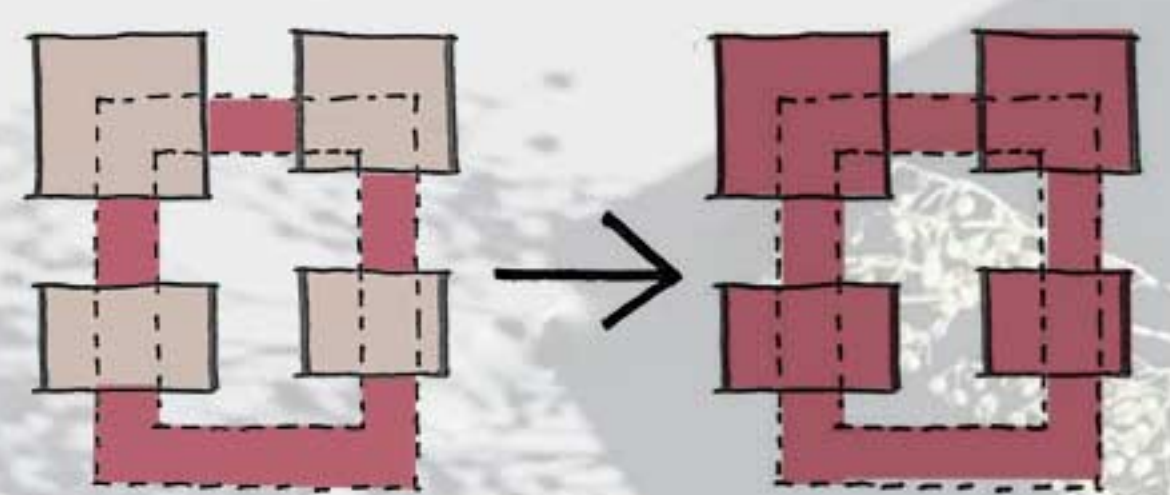
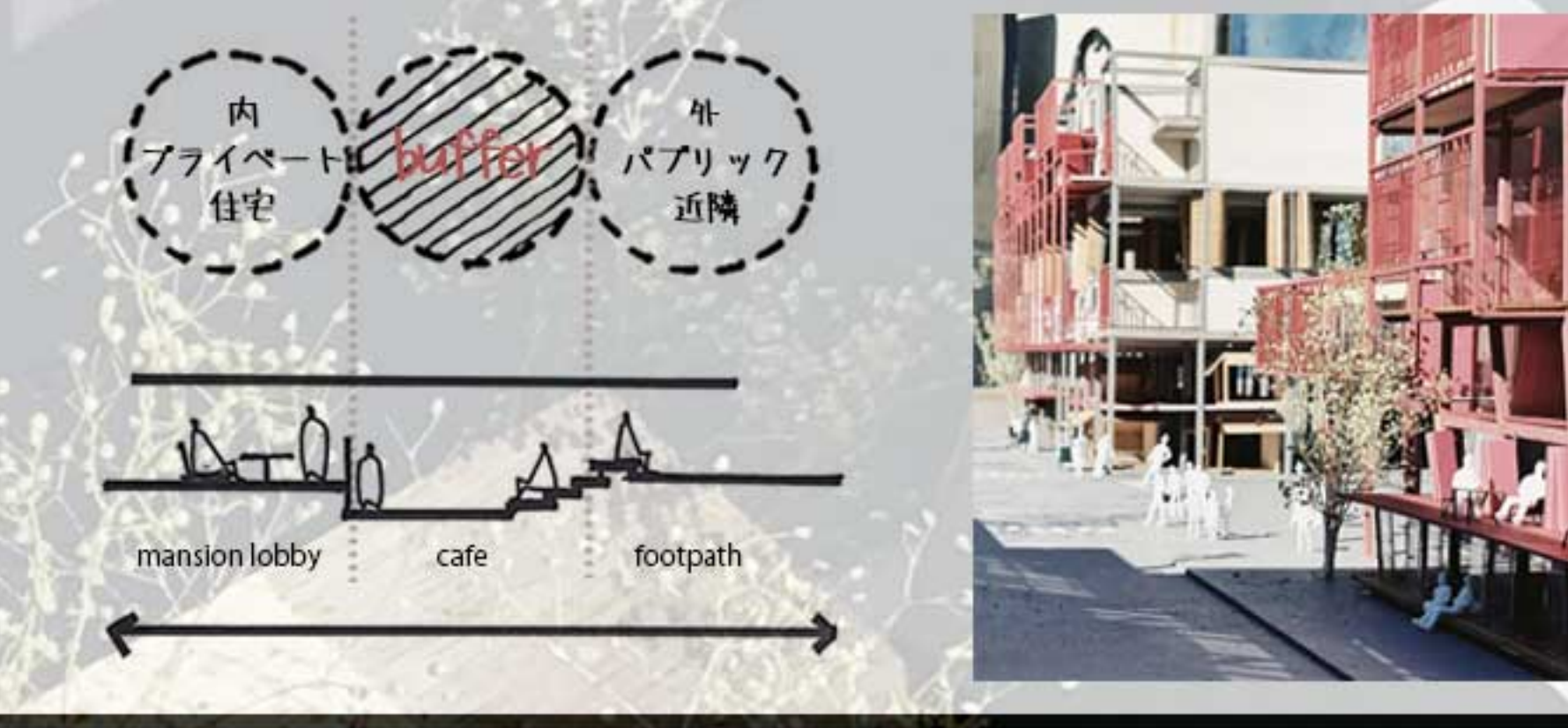
窓を開けると、隣のユニットを連続し、隣にいる人たちとインタラクションできる大きなテラスになる。



3階からはホームオフィスで、縦に一つのブロックは一つユニットにある形である。4階は半外部のリビングとダイニングエリアであるが、壁代わりに窓でそれぞれのユニットに分けられている。窓を開けると隣のユニットを連続し、近隣の人たちと対話できる。窓を閉めると完全に室内のプライベートスペースがまた戻る。

道路からの混雑性を減らすバッファゾーンをつくる。

co-working spaceはマンションと外のパブリック空間の間にある中間スペースになり、外の混雑性からマンションの中まで減らす機能と利用する。また、マンションのセキュリティをまだ守りながら、周りの人でも使える場所になり、住んでいる人と周りの人がお互いに見えるチャンスを増やせる。



リングの廊下はそれぞれのスタジオユニットをつなぎ、パーティションを開けるとギャラリースペースになる。

1階と2階部は反対側と同じように飲食店が揃っているオープンスペースである。残り部分はレンタルスタジオやアトリエである。3階部はリングの廊下でそれぞれのユニットが繋がれている。普通に廊下として利用しているし、イベントや特別な期間に、窓格子のパーティションを開けたら建物が全体的に連続し、ギャラリースペースになる。

地面から屋上まで連続し、みんなの多目的な広場になる。

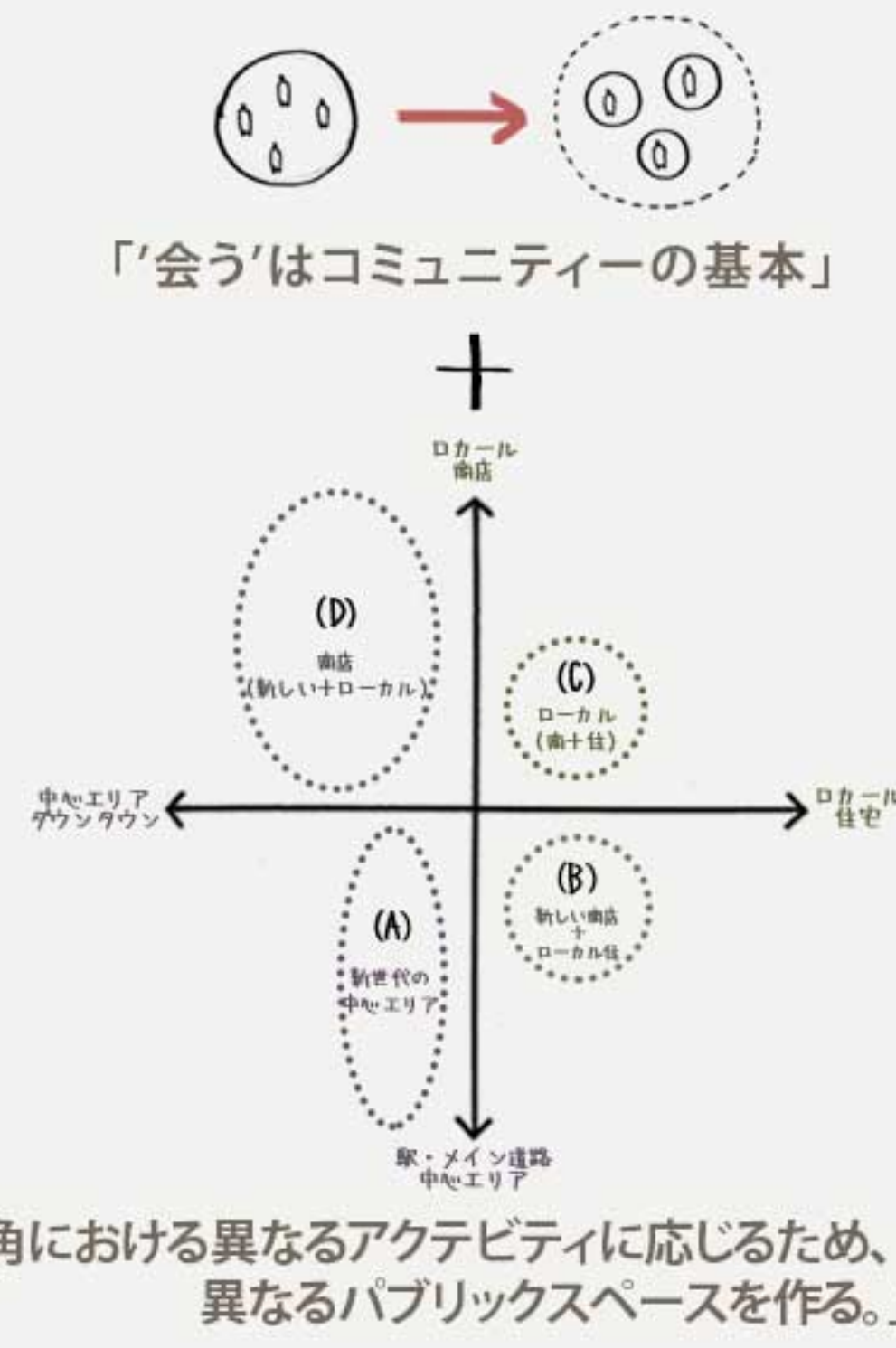
コミュニティの活動をサポートするため、多目的な広場が必要だと思うが、エカマイにはこういうスペースがない。住んでいる人たちがお互いに見えたり、活動したりする、また様々なイベントを行う多目的な広場を提案する。



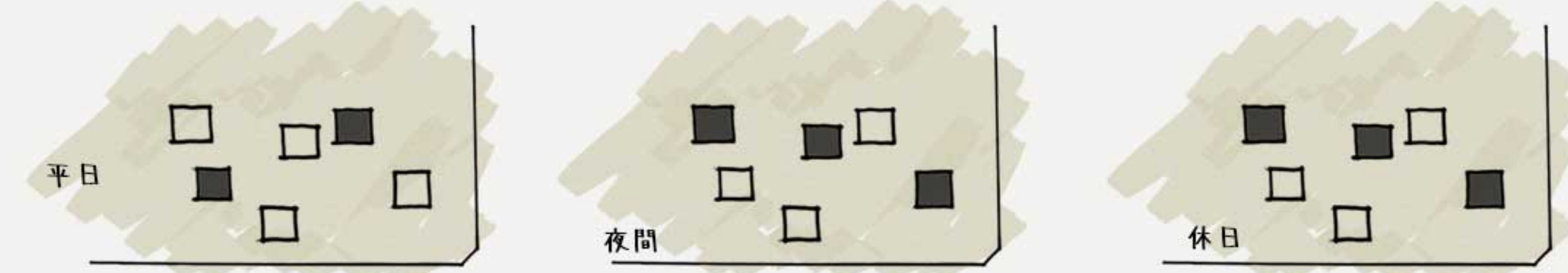
BRING BACK 'COMMUNITY' TO A PLACE BY USING BETWEEN SPACE

タイでは内部から外まで流れているbetween spaceを利用する習慣が特徴だと研究から学んできて、本設計では、こういうbetween spaceの使い方を向上し、小さなボリュームの中から流れ、お互いに連続し、場所にコミュニティ感を戻すため、様々な当てはめる可能性を実験した。

コミュニティスペースをつくるのは人々に同じ場所と同じアクティビティをやらせることなく、各人が自分のニーズやアクティビティを合わせるスペースを利用しながら、同時に周りの人とまだ対話できることだと思う。人々が自分の好きなスペースを利用しながら、周りにはまだ見えたり、話したりできて、お互いのインタラクションするチャンスも増し、コミュニティ感が発生する。



street level = free space

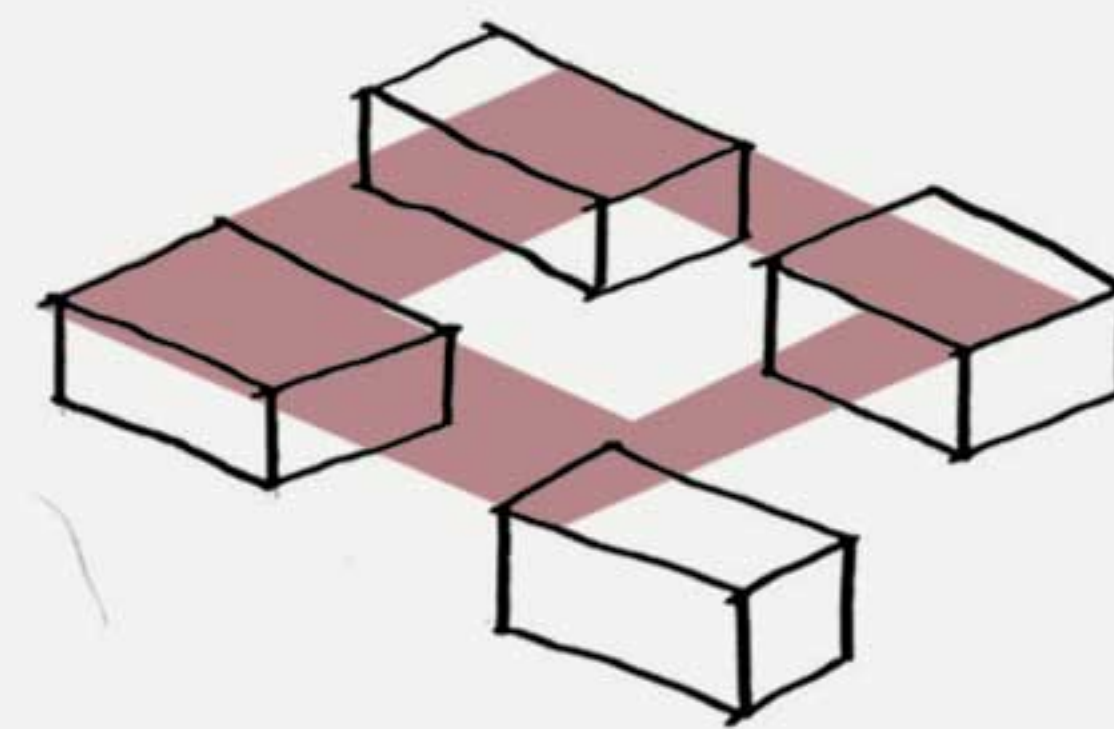


エカマイには様々プログラムが混在していて、平日・休日・夜間は異なる時間によってアクティビティも利用者も変わる。全ての建物の一階部は柔軟なオープンスペースとし、屋台系のコンパクトサイズの商店と共用席が揃っている。いつでも、一部の商店が閉まっても、席が使え、それらの広場は24/7に豊かに利用できる。



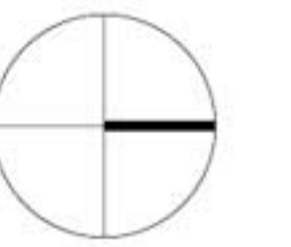
+8000mmで目線的に連続

エカマイにはゆったり休憩スペースがなく、道路沿いの一階部も混雑すぎるので、上階でテラスパークを提案する。各建物の8000レベルに大きなテラスをし、休憩スペースや遊び場として利用できる。また、同じレベルすることによって、各建物から他の三つと全体に連続感がある。



public program semi-space private program

STREET LEVEL overall plan
scale 1:750



2nd floor OVERALL PLAN
scale 1:1500



3rd floor OVERALL PLAN
scale 1:1500



quality public spaces invite people to stop, sit, eat, play and so on...the more people come out, the more chances of communication a person we offer met on the streets becomes 'person we know' and community occurs naturally



5th floor OVERALL PLAN
scale 1:1500



6th floor OVERALL PLAN
scale 1:1500

